

表3 家庭医がメンタルヘルス不調を発見できないことへの対策

大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー	番号	統合した情報単位(重要アイテム)
家庭医の診療能力の向上	家庭医がメンタルヘルス不調に気付くための教育	メンタルヘルス不調の診断に関する教育	1	家庭医が日常から鑑別診断にメンタルヘルスも含めて考えるようにする
			2	どういときにメンタルヘルス不調を疑うかを学ぶ
			3	メンタルヘルス不調をどう聞き出すかを学ぶ
			4	メンタルヘルス不調のスクリーニング法を学ぶ
			5	患者向けセルフアセスメントシートを利用できるようにする
	良好なコミュニケーションについての教育	メンタルヘルス不調のマネジメントについての教育	6	患者の話を傾聴するスキルを学ぶ
			7	患者が話しやすい医師-患者関係を構築することを学ぶ
	家庭医がメンタルヘルスに取り組むよう促す仕組みの構築	メンタルヘルス不調に対応することへのインセンティブとペナルティ	8	メンタルヘルス不調のマネジメント法を学ぶ
			9	患者のメンタルヘルスについて傾聴できるコメディカルを養成する
			10	メンタルヘルス不調のスクリーニングを保険点数化する
			11	精神科専門医でなくても精神科を標榜することで「通院精神療法」を請求する
			12	メンタルヘルス不調のスクリーニングを行わない医師にペナルティを課す
	家庭医がメンタルヘルスについて学ぶことを促進する仕組み	研修医教育にメンタルヘルス教育を取り入れる	13	メンタルヘルスに関する講習受講の義務化や生涯教育点数化をおこなう
			14	家庭医が自主的にメンタルヘルスに関する勉強会を行う
			15	研修医教育にメンタルヘルス教育を取り入れる
精神科医との連携	家庭医が精神科医とうまく連携する	精神科医への紹介(リファerral)についての教育	17	家庭医が精神科医に診て欲しい理由を上手に伝える紹介状の書き方を学ぶ
			18	軽症は家庭医が診て重症は専門医が診るという役割分担を明確にする
			19	家庭医と精神科医との勉強会を顔を知り合う形態で行う
		20	精神科医に相談しながらメンタルヘルス不調のマネジメントが行えるような関係作りを行う	
労働者への教育・情報提供	労働者がメンタルヘルス不調に気付くようになる	労働者に対してメンタルヘルスの知識についての啓発活動を行う	21	労働者向けのメンタルヘルスに関するパンフレットを配布する
			22	家庭医が社会に向けてメンタルヘルスについての啓発活動を行う
			23	マスメディアを動員してメンタルヘルスについてのキャンペーンを行う
			24	メンタルヘルスについて学べるゲームソフトを開発・発売する
	25	精神科とは別にメンタルヘルスを扱えることを標榜する制度をつくる		
事業所・産業医との連携	事業所・産業医との連携を促進する		26	家庭医が産業医や事業所から情報を得やすくする仕組みをつくる

外部相談機関等による職場への支援の現状とあり方の研究

研究分担者 原谷 隆史

独立行政法人労働安全衛生総合研究所 作業条件適応研究グループ部長

研究要旨

EAP (Employee Assistance Program: 従業員支援プログラム) 等の外部相談機関の職場メンタルヘルス不調への関わり、特に早期介入におけるこれらの機関の役割を検討することを目的として、文献研究、資料収集を行った。文献データベースでEAP等の外部相談機関の文献検索を行った結果、医中誌Webで81編、PubMedで153編の文献があった。その中で早期介入や早期発見の文献は少なかった。日本ではうつ病ケアでEAP等を活用して効果的な早期発見・早期治療に結びつけるためのシステムづくりの重要性が指摘されていた。海外ではアルコール依存症や薬物乱用等のEAPによる早期介入の有効性や経済的メリットの報告があった。「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」の登録相談機関は、7都府県の11機関であり、40道府県には登録相談機関が存在しない。日本EAP協会の賛助会員は7機関、その他のEAP等の相談機関をインターネットで検索すると16機関があった。相談機関の登録基準に精神科医による事前全面接があることが障害となっている可能性が考えられる。日本の外部相談機関では医療が重視されているが、対策のコストを考慮して経済的で有効な支援を提供することが望まれる。

<研究協力者>

中川 雅紀

三重大学大学院医学系研究科

濱口 達也

三重大学医学部附属病院精神科神経科

A. 研究目的

本研究の目的はEAP (Employee Assistance Program: 従業員支援プログラム) 等の外部相談機関の職場メンタルヘルス不調への関わり、特に早期介入におけるこれらの機関の役割を検討することである。

B. 研究方法

文献データベースとして、医学中央雑誌WebとPubMedを使用して2009年2月5日に文献検索を実施した。

医中誌WEBでは((労働衛生/TH or (労働衛生サービス/TH or 労働衛生サービス/A

L)) and (EAP/AL or EAPs/AL)) or (従業員支援プログラム/AL) or (従業員援助プログラム/AL)を検索した。

PubMedではEAP [Title] OR EAPS [Title] AND "occupational health services" [MeSH Terms] OR "employee assistance program*" を検索した。

さらにEAP等の外部相談機関の国内の状況を把握するためにインターネットで情報を収集した。

C. 研究結果

1) 医中誌Web

医中誌Webで検索した結果150編の文献があった。1頁の抄録等を除くと以下の81編であった。

水沢都加佐：職場のアルコール問題とその対策 アメリカの従業員援助プログラム(EAP)から学ぶこと、労働の科学 1992;47

(6):319-323

安田美弥子：企業におけるメンタルヘルス活動の日米比較 EAPとJMI. 保健婦雑誌 1992;48(11):919-925

川上憲人, 伊藤弘人：職場のメンタルヘルス最前線 EAP(Employee Assistance Program)と米国の産業精神保健. こころのりんしょう a・la・carte 1993.02:12(増刊):110-114

稲岡瑞穂：アルコール依存症に対する従業員援助プログラム(EAP)の有用性. アルコール研究と薬物依存 1994;29(4):382-383

市川佳居：アルコール問題への新たな取り組みと予防活動 EAP(従業員支援プログラム)による介入テクニック. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 1999;34(4):244-245

市川佳居：【職業性ストレスの現状と課題】 米国企業におけるストレスマネジメントの基幹 EAP(従業員援助プログラム). ストレス科学 1999;14(3):176-178

市川佳居：【職場のメンタルヘルス】 米国における従業員支援プログラム(EAP)の実践. 予防医学 2000;42:45-49

荒井稔：【これだけは知っておきたい 治療計画の立て方】 いろいろな臨床場面における治療計画の立て方 職場の精神保健における活動計画の立て方. 精神科臨床サービス 2001;1(3):407-410

山脇成人, 佐々木高伸, 吉村靖司, 柳井一郎, 岡村仁, 堀口淳, 河村隆弘, 広島県地域保健対策協議会精神保健専門委員会：産業精神保健に関する実態・ニーズ調査. 広島医学 2001;54(12):952-956

島悟, 田中克俊, 大庭さよ：産業・経済変革期の職場のストレス対策の進め方 各論 1 一次予防(健康障害の発生の予防) EAPについて. 産業衛生学雑誌 2002;44(2):50-55

市川佳居, 榎田京子, 松井知子, 照屋浩司,

角田透：某グローバル企業におけるEAPプロバイダー・システム構築の試み. アジア太平洋地区全従業員へのEAPサービス提供 産業精神保健 2002;10(2):160-161

市川佳居, 尾崎健一, 松井知子, 照屋浩司, 角田透：日本におけるEAPの医療経済効果及びROI(投資効果)の測定方法への試み. 産業精神保健 2002.06;10(2):162-163

島悟：【これから五年間の産業精神保健・医療の展望】 21世紀初頭,5年後のEAP. 産業精神保健 2002;10(3):214-216

市川佳居：【産業保健スタッフの教育・研修の現状と問題点】 EAPスタッフの教育・研修の現状と問題点. 産業ストレス研究 2002;9(2):107-113

島悟：【働く人のメンタルヘルス】 職場のメンタルヘルス対策におけるEAPの意義と役割 保健婦雑誌2003;59(5):428-432

高橋尚子：職場のメンタルヘルス対策としてのEAPの役割 ジャパンEAPシステムズにおける実践. 日本アルコール・薬物医学会雑誌2003;38(3):212-213

長見まき子：転換期のメンタルヘルス 外部EAP機関に何が可能か. 産業精神保健 2003;11(2):152-153

河野慶三：職場のメンタルヘルス対策としてのEAPの意義と役割 私の産業医活動からみたEAP. 産業ストレス研究 2003;10(4):235-237

山本晴義：職場のメンタルヘルス対策としてのEAPの意義と役割 公的EAPとしての労災病院勤労者メンタルヘルスセンターの役割. 産業ストレス研究 2003;10(4):239-243

島悟, 佐藤恵美：職場のメンタルヘルス対策としてのEAPの意義と役割 事業場における労働者の心の健康づくりのための指針の事業場外資源として. 産業ストレス研究 2003;10(4):245-249

- 松本桂樹, 赤塚由見子: 職場のメンタルヘルス対策としてのEAPの意義と役割 外部EAP機関の実践報告, 産業ストレス研究 2003;10(4):251-255
- 横田喜吉: 外部EAP機関に求めるもの 企業の人事担当の視点から, 産業精神保健 2003;11(3):266-268
- 松本桂樹, 岸本麗: 【産業安全・保健対策の費用効果】メンタルヘルスケアの費用対効果 EAPの視点で, 労働の科学 2004;59(1):17-20
- 市川佳居: 【職場における心理臨床】EAP(従業員支援プログラム), 臨床心理学 2004;4(1):41-46
- 廣川進: 電話相談の考え方とその実践 電話相談の実際 産業EAP(従業員支援プログラム)における電話サービスの現状と課題, 臨床心理学 2004;4(2):257-261
- 森重美奈子, 武藤孝司: 外部EAP導入後の利用実績, 日本健康教育学会誌 2004;12(Suppl.):252-253
- 田中克俊: 【産業ストレス対策の新しい展開】日本企業におけるEAPの展開, ストレス科学 2002;16(4):221-226
- 島悟, 佐藤恵美: 【地域で実践できる危機予防と危機介入】危機コールへの対応 職場からの危機コール, 精神科臨床サービス 2004;4(4):544-547
- 森田美保子: 【職場復帰(メンタルヘルス)をどのように進めるか】EAP(従業員支援プログラム)を活用した職場復帰システム, 働く人の安全と健康 2005;56(4):350-353
- 島悟: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPの過去・現在・未来, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):18-22
- 前田一寿: 【新しいこころのケア・システムEAP】世界のEAPについて, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):23-26
- 廣尚典: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPと産業保健, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):27-31
- 山本和儀: 【新しいこころのケア・システム:EAP】EAPと地域精神保健, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):32-36
- 玉井光: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPと精神医療, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):37-41
- 山川和夫, 山川みどり: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPとマネジメントシステム, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):42-45
- 大渡肇: 【新しいこころのケア・システムEAP】グローバル社会とEAP, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):46-49
- 小林剛: 【新しいこころのケア・システムEAP】心の健康づくり 組織的対応について, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):50-53
- 森田美保子: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPと産業看護, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):55-59
- 長見まき子: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPサービス機関の組織・機能, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):61-65
- 市川佳居: 【新しいこころのケア・システムEAP】EAPのコアテクノロジー, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):66-70
- 松本佳樹: 【新しいこころのケア・システムEAP】アルコール問題へのアプローチから読みとるEAPの特色, こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):71-75

- 佐藤恵美：【新しいこころのケア・システム EAP】 事業場内カウンセリングとEAP. こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):76-81
- 田中克俊：【新しいこころのケア・システム EAP】 自殺防止とEAP こころのりんしょうa・la・carte(0288-0512) 2005.03;24(1):82-85
- 大庭さよ：【新しいこころのケア・システム EAP】 EAPとキャリアカウンセリング. こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):86-90
- 竹原大, 廣山祐二, 村上裕子：【新しいこころのケア・システム EAP】 EAPを支えるインフラ. こころのりんしょうa・la・carte 2005;24(1):91-94
- 玉井光：メンタルヘルスにおける事業場内外の連携 職場復帰支援を中心に 外部EAP機関の立場から. 産業衛生学雑誌 2005;47(臨増):164-165
- 八木亜紀子：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで 医療現場における職員のメンタルヘルスの進め方. ナースマネジャー 2005;7(3):76-79
- 松尾富佐子, 大山功一：【病院が導入している「職員のストレス対策」】 病院におけるEAP導入の実際. こころケア 2005;8(2):36-41
- 江口毅：【「悩み/心の病」の判別と予防法】 看護ラインに適したメンタルヘルス推進策. こころケア 2005;8(2):104-110
- 松本桂樹：【「悩み/心の病」の判別と予防法】 職場管理としての「心の病」の基礎知識. こころケア 2005;8(2):111-117
- 八木亜紀子：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで メンタルヘルスの理由による傷病休職者の復帰支援. ナースマネジャー 2005;7(6):63-67
- 市川佳居：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで EAPの基礎知識. ナースマネジャー 2005;7(7):67-72
- 碓正義：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで 外部EAPの活用方法. ナースマネジャー 2005;7(8):68-71
- 市川佳居：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで EAPプログラムの効果測定. ナースマネジャー 2005;7(9):70-73
- 清水隆司, 永田頌史：自殺予防のためのツールの開発 EAPによる介入的アプローチ. 産業ストレス研究 2005;12(4):309-313
- 碓正義：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで EAP利用の定着化に向けた管理者研修. ナースマネジャー 2006;7(11):70-72
- 佐久間万夫：【職場に戻るためのメンタルヘルス】 各立場からの復職への工夫 外部EAPとしての復職向け及び復職後支援. 精神科臨床サービス 2006;6(1):48-53
- 小林絵理子：危機管理としてのメンタルヘルス対策 患者対応から職員支援システムの構築まで 医療現場のEAP～アメリカの現状. ナースマネジャー 2006;7(12):75-79
- 玉井光：森田療法の新しい技法 その効用と限界 森田療法の中心概念と辺縁領域. メンタルヘルス領域への応用. 日本森田療法学会雑誌 2003;14(1):63-68
- 江口毅：【「疲れた」「報われない」「向いてない」スタッフ再生 スタッフの離職を止める技術】 産休・育休・介護・心身不調など休職者の「そのまま退職」を予防する職場復帰プログラムと師長の役割.

- ナースマネジャー 2006;8(4):11-19
- 八木亜紀子：【職場のメンタルヘルスサービス従事者のストレス・ストレスマネジメント】 EAPの立場から、産業精神保健 2006;14(2):90-94
- 江口毅：【忙しい病棟でできる事故防止の工夫】 医療事故・離職を防止する職場のメンタルヘルス支援策、ナースセミナー 2006;27(8):4-10
- 高橋尚子：アルコール依存症の予防活動の現状と課題 企業へのアプローチ EAPでの実践、日本アルコール関連問題学会雑誌 2006;8:64-67
- 星島一太、榎本稔：対人援助職へのEAP導入の試み 保育士、ベビーシッター、ヘルパー等、日本アルコール関連問題学会雑誌 2006;8:132-137
- 田中克俊：【うつ病のすべて】 サポート・医療環境 職域におけるうつ病ケア、医学のあゆみ 2006;219(13):1007-1010
- 江口毅：【看護師の心の不安を解消する！看護師のメンタルヘルスと職場の精神保健】 職場の精神保健の基礎知識 スタッフが辞めない健康な職場づくりの基礎知識、こころケア 2006;9(3):26-47
- 江口毅：【看護師の心の不安を解消する！看護師のメンタルヘルスと職場の精神保健】 一人ひとりが取り組むストレスのセルフケア 看護師のストレス緩和・予防策、こころケア 2006;9(3):100-109
- 小林祐一：【職場ニーズに応じたストレス対策の実際とその効果】 事業者のニーズに応える社内EAP機能 産業医の役割、産業ストレス研究 2006;13(4):219-224
- 市川佳居：【職場ニーズに応じたストレス対策の実際とその効果】 EAPとしての関わりから 危機介入という視点、産業ストレス研究 2006;13(4):225-230
- 松本桂樹：看護管理者必読！スタッフの「心の病」の基礎知識編 新・職場管理としての「心の病」の基礎知識、こころのマネジメント 2007;10(7):6-14
- 高野知樹、島悟：認定産業医 実践編 産業保健とEAP、日本医事新報 2007;4339:42-45
- 島悟：「EAP」再考、心と社会 2007;38(3):63-68
- 谷原弘之：健康で働きつづけられる職場づくり 職業性ストレス簡易調査票の活用例、民医連医療 2007;422:42-43
- 松本桂樹：【職場のメンタルヘルス update】 EAPシステム、心療内科 2007;11(6):429-437
- 島悟：EAP活用のポイント EAP再考、産業精神保健 2007;15(4):211-215
- 小西定之、松本桂樹：保健予防事業のアウトソーシング最前線 外部EAP活動と今後の展望 ジャパンEAPシステムズ、公衆衛生 2008;72(3):236-239
- 廣尚典：【インターネットを利用した精神医療】 EAP(Employee Assistance Program)におけるITの活用、精神科治療学 2008;23(5):555-560
- 春日未歩子：【現代社会におけるメンタルヘルスの課題 精神保健福祉士に期待される役割と可能性】 実践現場から概況と課題提起に関する報告 産業保健分野の現状と課題、精神保健福祉 2008;39(1):25-28
- 市川佳居：【職場復帰支援の理論と実践】 EAPサービスによる職場復帰支援の実際、産業ストレス研究 2008;15(3):197-202
- 轟美和子、伊藤裕康、尾久征三、真船浩介、廣尚典、永田頌史：中小規模事業場におけるメンタルヘルス対策(4) 労働衛生コンサルタント及びEAP機関の活動に関する調査、産業衛生学雑誌 2008;50(5):152-153
- 榎本正己、川端洋子：【職場でのメンタルヘルス】 従業員援助プログラム(EAP)と

は 外部EAP機関での活動から、精神科 2008;13(4):332-339

この中で早期介入、早期発見をキーワードとして検索すると該当する論文は1編であった。田中(2006)は、職域におけるうつ病ケアでは精神医学に基づく臨床的視点のほかに、労働安全衛生法および企業の責務である安全(健康)配慮義務も含めた視点が必要であり、職場復帰支援のほかに、うつ病の発症予防や早期発見・早期治療に結びつけるための教育や体制づくりが重要であること、EAP(従業員支援プログラム)など家族による気づきや支援を活用しながら効果的な早期発見・早期治療に結びつけるためのシステムづくりも重要であることを指摘した。

2) PubMed

PubMedを検索した結果以下の153編の文献があった。

Harper SB; Bennett GK; Blanchet A; Knox AE; Martin RH: Panel on employee assistance program. *Trans Assoc Life Insur Med Dir Am*. 1978;61:140-59.
Martin RH: DOFASCO employee assistance program. *Trans Assoc Life Insur Med Dir Am*. 1978;61:127-39.
Herrmann LM: An employee assistance program pays off. *Hosp Prog*. 1978;59(2):34, 36.
Weaver CA: EAPs--how they improve the bottom line. *Risk Manage*. 1979;26(7):22, 24-6.
Barrie K; Smirnow B; Webber A; Keifhaber A; Kiefhaber A; Goldbeck WB; d'Autremont S: Some guidelines for employee assistance program development.

Ind Health Care. 1980;9:58-77.

Gerhardt MC: Promoting an employee assistance program in an HMO. *Ind Health Care*. 1980;9:85-93.

Jackson GW: Alcoholism among hospital employees. *Am J Drug Alcohol Abuse*. 1981-1982;8(4):533-40.

Steinberg SL: Saint Vincent Health Center, Erie, PA. Employee assistance program conserves human resources. *Hosp Prog*. 1981;62(2):50-1.

Hellan RT; Campbell WJ: Contracting for EAP services. *Pers Adm*. 1981;26(9):49-51.

Featherston HJ; Bednarek RJ: A positive demonstration of concern for employees: a two-year analysis of one hospital's employee assistance program. *Pers Adm*. 1981;26(9):43-4, 47.

Hospital's EAP staff perfect the art of packaging services for business clients. *Promot Health*. 1982;3(2):7-9.

Putnam SL; Stout RL: Union-related correlates of employee referrals to an occupational alcoholism project in a health maintenance organization. *J Occup Med*. 1982;24(3):225-33.

Murray S: Nurse-practitioner highlights plan for hospital-based EAP. *Empl Health Fit*. 1982;4(4):47-8.

Elliott B; Williams E: Help for the helper. An employee assistance program. *Am J Nurs*. 1982;82(4):586-7.

Hayes LS; O'Connor MR: Emotional components of supervision: an EAP workshop. *Soc Casework*. 1982;63(7):408-14.

Wright CC: Cost containment through health promotion programs. *J Occup Med*. 1982;24(12):965-8.

- Jackson GW: Prevention and alcoholism: the employee assistance program in health care institutions. *Bull N Y Acad Med.* 1983;59(2):245-9.
- Cahill MH: Training employees and supervisors to increase use of EAPs by women. *Alcohol Health Res World.* 1983;7(3):18-22.
- Bednarek RJ; Featherston HJ: Employee assistance program treats personal problems. *Hosp Prog.* 1984;65(3):44-7, 60.
- Bloomberg G: EAP (employee assistance program) comes of age in the workplace. *Vt Regist Nurse.* 1984:7-8.
- Good RK: What Bechtel learned creating an employee assistance program. *Pers J.* 1984;63(9):80, 83-4, 86.
- Cox WH: On establishing an employee assistance program. *Ala J Med Sci.* 1984;21(4):433-4.
- Myers DW: Measuring cost effectiveness of EAPs. *Risk Manage.* 1984;31(11):56-61.
- Blair BR: Selecting an EAP contractor that will meet company needs. *Occup Health Saf.* 1984;53(10):40-3, 53.
- Sudduth AB: EAPs: defining functions and evaluating your program. *Occup Health Saf.* 1984;53(10):44-6, 53.
- Nahrwold SC: Broad brush EAP approach. *Bus Health.* 1984;2(2):29-31.
- Weinberg AJ: EAP evaluation: a problematic exercise. *Bus Health.* 1984;2(2):32-3.
- Putnam SL; Stout RL: Evaluating employee assistance policy in an HMO-based alcoholism project. *Eval Program Plann.* 1985;8(3):183-94.
- Blair BR: The employee assistance program: a health promotion essential. *Promot Health.* 1985;6(2):1-3.
- Thorpe E: Designing the hospital EAP: a case in point. *Promot Health.* 1985;6(2):4-5, 10.
- Myers PS; Myers DW: EAPs: the benefit that creates new risks. *Risk Manage.* 1985;32(5):46-52.
- Champion EM: Employee assistance program: an alternative delivery model. *Mich Hosp.* 1985;21(12):23-5.
- Perkins AW; Reynolds DL: EAP consortium provides vital job saving services to small employers. *Bus Health.* 1986;3(3):52-3.
- Lesser JG; Cavaseno VH: Establishing a hospital's employee assistance program. *Health Soc Work.* 1986;11(2):126-32.
- Taravella S: EAPs cope with growing cocaine use. *Bus Insur.* 1986;20(39):59.
- Duvall SC: Comparing the three EAPs: external programs are easiest to use. *Occup Health Saf.* 1986;55(12):71-3.
- Nadolski JN; Sandonato CE: Evaluation of an employee assistance program. *J Occup Med.* 1987;29(1):32-7.
- Wagner JC: Substance-abuse policies and guidelines in amateur and professional athletics. *Am J Hosp Pharm.* 1987;44(2):305-10.
- Dubuc D: Employee assistance program a win-win situation. *Mich Hosp.* 1987;23(4):35-7.
- Spanos C; Arauzo D: Hospital's employee assistance program: it's gaining in credibility, use. *Tex Hosp.* 1987;43(4):18-9.

- Nelson S: SamCor adds EAP coverage to HMO package. *Hospitals*. 1987 20:6 1(16):66.
- Haught SM: Hospital's EAP meets unique needs of health care professionals. *Promot Health*. 1987;8(6):5-7.
- Finney D: Hospital employee assistance programs. A look at EAPs in Georgia. *South Hosp*. 1987;55(6):24-6.
- Lawton B: The EAP and workplace psychiatric injury. *Occup Med*. 1988;3(4):695-706.
- Smith RL; Starnes HM: Hospital pharmacy employment considerations for the chemically dependent health-care professional. *Am J Hosp Pharm*. 1988;45(10):2102-7.
- Blair BR: EAPs: essential elements and approaches. *Health Values*. 1989;13(1):28-31.
- Brody BE: EAPs: past, present, and future. *Health Values*. 1989;13(1):32-8.
- Hellan RT: EAPs: planning now to deal with tomorrow's personal problems. *Health Values*. 1989;13(1):46-9.
- Myerson W; Fruge E; Pierrel S: EAP structure: a model for ethical appraisal. *Health Values*. 1989;13(1):50-3.
- Bruhnsen K: EAP evaluation and cost benefit savings: a case example. *Health Values*. 1989;13(1):39-42.
- Lawton B: EAPs in the 1990s: challenges and opportunities. *Health Values*. 1989;13(1):43-5.
- Backer TE: Drug abuse services and EAPs: preliminary report on a national study. *NIDA Res Monogr*. 1989;91:227-44.
- Roman PM: The use of EAPs in dealing with drug abuse in the workplace. *NIDA Res Monogr*. 1989;91:271-86.
- Colantonio A: Assessing the effects of employee assistance programs: a review of employee assistance program evaluations. *Yale J Biol Med*. 1989;62(1):13-22.
- Macdonald S; Albert W; Maynard M; French P: Survival analysis to explore the characteristics of employee assistance program (EAP) referrals that remain employed. *Int J Addict*. 1989;24(2):113-22.
- Fitzgerald ST; Hammond SC; Harder KA: Role of the employee assistance program in helping the troubled worker. *Occup Med*. 1989;4(2):233-43.
- Thompson L: The occupational health nurse as an employee assistance program provider. *AAOHN J*. 1989;37(12):501-7.
- Moore T: Employee assistance program evaluation. Employee perceptions, awareness, and utilization. *AAOHN J*. 1989;37(12):508-12.
- Fielding JE: Work site stress management: national survey results. *J Occup Med*. 1989;31(12):990-5.
- Armstrong KT: Support your local EAP? *JEMS*. 1990;15(1):11-2.
- Kirrane D: EAPs (employee assistance programs): dawning of a new age. *HR MAGAZINE*. 1990;35(1):30-4.
- Kernaghan SG: Keeping health promotion in the pink. Documentation can show how programs contribute to hospital goals. *Health Prog*. 1990;71(6):85-7.
- Csiernik RP: An EAP intervention prot

- ocol for occupational health nurses. *AAOHN J.* 1990;38(8):381-4.
- Bryant M: Ways to make EAPs more cost effective. *Bus Health.* 1990;8(9):12-4, 16, 20.
- Stephens B: Promoting EAPs ... a delicate balance. *Profiles Healthc Mark.* 1991;(41):28-33.
- Foster Z; Hirsch S; Zaske K: Social work role in developing and managing employee assistance programs in health care settings. *Soc Work Health Care.* 1991;16(2):81-96.
- Walsh DC; Hingson RW; Merrigan DM; Cupples LA; Levenson SM; Coffman GA: Associations between alcohol and cocaine use in a sample of problem-drinking employees. *J Stud Alcohol.* 1991;52(1):17-25.
- Mistretta EF; Inlow LB: Confidentiality and the employee assistance program professional. *AAOHN J.* 1991;39(2):84-6.
- Jackson J: EAP: gatekeeper for employee problems. *South Hosp.* 1991;57(2):6, 34.
- Burton WN; Hoy DA; Stephens M: A computer-assisted health care cost management system. *J Occup Med.* 1991;33(3):268-71.
- Settineri EG: Effectively measuring the costs of EAPs. *HRMAGAZINE.* 1991;36(4):53-4, 56.
- Foote A; Erfurt JC: Effects of EAP follow-up on prevention of relapse among substance abuse clients. *J Stud Alcohol.* 1991;52(3):241-8.
- Byrant M: Testing EAPs for coordination. *Bus Health.* 1991;9(8):20-2, 24.
- Fiedler N; Bowden J; Kelly-McNeil K; Steinberg M; Gochfeld M: Employee assistance program compliance: impact of contrasting insurance coverage. *J Occup Med.* 1991;33(8):862-7.
- Stephens B: EAP pays off for good employees. *Profiles Healthc Mark.* 1991;(44):22-5.
- Conry PB: Drugs and alcohol in the workplace. *AAOHN J.* 1991;39(10):461-5.
- Wing DM: Involuntary chemical addiction treatment. EAP implications for occupational health nurses. *AAOHN J.* 1991;39(10):466-73.
- Handley SM; Plumlee AA; Thompson NC: The impaired nurse. Organizational and professional models of response. *AAOHN J.* 1991;39(10):478-82.
- Goodrich JA; Sylvester R: Marketing EAPs: issues and prospects. *J Ambul Care Mark.* 1992;5(1):197-207.
- Walsh DC; Hingson RW; Merrigan DM; Levenson SM; Coffman GA; Heeren T; Cupples LA: The impact of a physician's warning on recovery after alcoholism treatment. *JAMA.* 1992;267(5):663-7.
- White RK; Schwartz RP; McDuff DR; Hartmann PM: Hospital-based professional assistance committees: literature review and guidelines. *Md Med J.* 1992;41(4):305-9.
- Miller NA: An evaluation of substance misuse treatment providers used by an employee assistance program. *Int J Addict.* 1992;27(5):533-59.
- Ramanathan CS: EAP's response to personal stress and productivity: implications for occupational social work. *Soc*

- Work. 1992;37(3):234-9.
- Roman PM; Blum TC: Dealing with alcohol problems in the workplace. *Recent Dev Alcohol*. 1993;11:473-91.
- Alexander P; Smith FJ: Employee Assistance Program utilization for substance abuse problems and organizational climate as perceived by supervisory personnel. *J Health Hum Resour Adm*. 1992;15(1):110-24.
- Flynn CF; Sturges MS; Swarsen RJ; Kohn GM: Alcoholism and treatment in airline aviators: one company's results. *Aviat Space Environ Med*. 1993;64(4):314-8.
- McLellan AT; Grissom GR; Brill P; Durrell J; Metzger DS; O'Brien CP: Private substance abuse treatments: are some programs more effective than others? *J Subst Abuse Treat*. 1993;10(3):243-54.
- Pilling K: EAPs--occupational health on the cheap? *Occup Med (Lond)*. 1993;43(3):119-20.
- Pine D: Getting more mileage from EA. *Ps. Bus Health*. 1994;12(6):49-50.
- Derr WD: EAP/managed behavioral health care providers: how to get what you pay for. *Employ Relat Today*. 1994;21(2):153-62.
- Conti DJ; Burton WN: The economic impact of depression in a workplace. *J Occup Med*. 1994;36(9):983-8.
- Ansel DE; Berte ER: Direct contracting between employers and behavioral healthcare providers. *Behav Healthc Tomorrow*. 1994;3(6):36-9.
- Peery BL; Rimler GW: Chemical dependency among nurses: are policies adequate? *Nurs Manage*. 1995;26(5):52, 54, 56.
- Monfils MK: Needs assessment and implementation of an employee assistance program: promoting a healthier workforce. *AAOHN J*. 1995;43(5):263-9.
- White R; Le Van D; McDuff D: Helping the patient in denial: the role of the family in intervention. *Md Med J*. 1995;44(6):462-6.
- White RK; McDuff DR; Schwartz RP; Tiegel SA; Judge CP: New developments in employee assistance programs. *Psychiatr Serv*. 1996;47(4):387-91.
- White R; Jones OJ: The Dentists' Well-Being Committee of Maryland. *MSDA J*. 1996;39(2):65-8.
- Kramer R; Neiditz J; Eller E: The EEOC's new ADA mental disability guidelines: an EAP is a pretty reasonable accommodation. *Benefits Q*. 1997;13(4):72-6.
- Wakefield M; Pallister R: New hope for a disabling condition. Cognitive-behavioral approaches to panic disorder. *J Psychosoc Nurs Ment Health Serv*. 1997;35(3):12-20.
- Kalina CM; Cerkenvenik MA; Reisch JM: Expertise partnering--occupational health services and EAPs. Successful program. *AAOHN J*. 1997;45(3):131-6.
- McLellan AT; Grissom GR; Zanis D; Randall M; Brill P; O'Brien CP: Problem-service 'matching' in addiction treatment. A prospective study in 4 programs. *Arch Gen Psychiatry*. 1997;54(8):730-5.
- Kelly JA: Substance abuse and mental health care. Managed care, access, an

- d clinical outcomes. *AAOHN J.* 1997;45(9):439-45.
- Ito H; Fujii K; Sasaki Y: [Patterns of utilization of external employee assistance program--analysis of employees who do have their psychiatrists] *Sangyo Eiseigaku Zasshi.* 1998;40(1):15-21.
- Kramer RM: The role of the EAP in the identification and treatment of substance abuse. *Clin Lab Med.* 1998;18(4):747-53, x.
- Delaney W; Grube JW; Ames GM: Predicting likelihood of seeking help through the employee assistance program among salaried and union hourly employees. *Addiction.* 1998;93(3):399-410.
- Churchill J: Organizational culture in the changing workplace: an employee assistance program perspective. *Semin Nurse Manag.* 1999;7(1):17-20.
- Shaffer HJ; Vander Bilt J; Hall MN: Gambling, drinking, smoking and other health risk activities among casino employees. *Am J Ind Med.* 1999;36(3):365-78.
- West JC: Hospital may be liable for failing to act on disclosures to EAP counselors. *Doe v. Garcia.* *J Healthc Risk Manag.* 1998;18(4):74-7.
- Schneider RJ; Casey J; Kohn R: Motivational versus confrontational interviewing: a comparison of substance abuse assessment practices at employee assistance programs. *J Behav Health Serv Res.* 2000;27(1):60-74.
- Zarkin GA; Bray JW; Qi J: The effect of Employee Assistance Programs use on healthcare utilization. *Health Serv Res.* 2000;35(1 Pt 1):77-100.
- Lippman H: This is not your father's EAP. *Bus Health.* 1999;17(12):42.
- Becker LR; Hall M; Fisher DA; Miller TR: Methods for evaluating a mature substance abuse prevention/early intervention program. *J Behav Health Serv Res.* 2000;27(2):166-77.
- McNally VJ: FBI's Employee Assistance Program: an advanced law enforcement model. *Int J Emerg Ment Health.* 1999;1(2):109-14.
- Sumerall SW; Israel AR; Brewer R; Brew RE: The role of employee assistance programs in the era of rapid change in the health care delivery system. *Int J Emerg Ment Health.* 1999;1(4):251-2.
- Zarkin GA; Bray JW; Karuntzos GT; Demiralp B: The effect of an enhanced employee assistance program (EAP) in intervention on EAP utilization. *J Stud Alcohol.* 2001;62(3):351-8.
- Cuffel BJ; Regier D: The relationship between treatment access and spending in a managed behavioral health organization. *Psychiatr Serv.* 2001;52(7):949-52.
- Hobson CJ; Kesic D; Delunas L: A framework for redesigning or fine-tuning your benefit package--results from a national survey of stressful life events. *Benefits Q.* 2001;17(3):46-50.
- Roberts C: Developing a fitness employee assistance program. *Bus Health.* 2001;19(9):22-4.
- Quan J; Wadsworth M: Bereavement support. The occupational health nurse's role when death comes to work. *AAOHN J.* 2000;48(10):461-9.

- Edge RM: The gift of employee dissatisfaction. *Radiol Manage.* 2002;24(1):36-9.
- Saylor J: The role of trauma debriefing in occupational medicine at an airline. *Occup Med.* 2002;17(2):189-96, iii.
- Bennett JB; Lehman WE: Supervisor tolerance-responsiveness to substance abuse and workplace prevention training: use of a cognitive mapping tool. *Health Educ Res.* 2002;17(1):27-42.
- Shima S; Tanaka K; Ohba S: [Employee assistance program] *Sangyo Eiseigaku Zasshi.* 2002;44(2):50-5.
- Meyer J; Davis E: Workplace chaplains: filling a need traditional EAPs can't meet. *Benefits Q.* 2002;18(3):22-6.
- McNeese-Smith DK; Crook MW; Marinelli-Casey P; Williams L; Rawson R: Benefit determination under managed care for substance abuse treatment clients. *Care Manag J.* 2001-2002;3(2):55-62.
- Tourigian R: What is the role of the employee assistance program in case management? *AAOHN J.* 2003;51(1):8-9.
- McFarland BH; Lierman WK; Penner NR; McCamant LE; Zani BG: Employee benefits managers' opinions about addiction treatment. *J Addict Dis.* 2003;22(2):15-29.
- Reynolds GS; Lehman WE: Levels of substance use and willingness to use the Employee Assistance Program. *J Behav Health Serv Res.* 2003;30(2):238-48.
- Enos G: Moving the focus beyond healthcare companies demanding more from EAP work/life vendors. *Behav Health Tomorrow.* 2001;10(2):SR23-5.
- Spicer RS; Miller TR; Smith GS: Worker substance use, workplace problems and the risk of occupational injury: a matched case-control study. *J Stud Alcohol.* 2003;64(4):570-8.
- Seebold A: Responding to a murder/suicide at a rural junior high school. *Int J Emerg Ment Health.* 2003;5(3):153-9.
- Shumway ST; Wampler RS; Dersch C; Arredondo R: A place for marriage and family services in employee assistance programs (EAPs): a survey of EAP client problems and needs. *J Marital Fam Ther.* 2004;30(1):71-9.
- Hon J; Williams L: EAP follow-up in the workplace boosts alcohol treatment success. *Issue Brief (George Wash Univ Med Cent Ensuring Solut Alcohol Probl).* 2004;(9):1-2.
- Chan KK; Neighbors C; Marlatt GA: Treating addictive behaviors in the employee assistance program: implications for brief interventions. *Addict Behav.* 2004;29(9):1883-7.
- Deitz D; Cook R; Hersch R: Workplace health promotion and utilization of health services: follow-up data findings. *J Behav Health Serv Res.* 2005;32(3):306-19.
- Ott CH; Plach SK; Hewitt JB; Cashin SE; Kelber S; Cisler RA; Weis JM: Smoking-related health behaviors of employees and readiness to quit: basis for health promotion interventions. *AAOHN J.* 2005;53(6):249-56.
- Paul J; Blum D: Workplace disaster preparedness and response: the employee assistance program continuum of services. *Int J Emerg Ment Health.* 2005;7(3):169-78.

- Tyler MP; Rogers JR: A federal perspective on EAPs and emergency preparedness. *Int J Emerg Ment Health*. 2005;7(3):179-86.
- Sugden BW; Katchmar R: Bioterrorism and its aftermath: dealing individually and organizationally with the emotional reactions to an anthrax attack. *Int J Emerg Ment Health*. 2005;7(3):203-11.
- Maiden RP: Managing trauma in the South African mining industry. *Int J Emerg Ment Health*. 2005;7(3):213-7.
- Heitt MC; Tamburo MB: The development and evaluation of an internal workplace violence risk assessment protocol: one organization's experience. *Int J Emerg Ment Health*. 2005;7(3):219-26.
- Masi D: New initiatives in the EAP field. *Behav Healthc*. 2006;26(4):23-4.
- Mains DA; Fairchild TJ; Rene AA: An employee assistance program for caregiver support. *J Gerontol Soc Work*. 2006;47(1-2):157-73.
- Derr WD: A wider role for EAPs. *Behav Healthc*. 2006;26(9):60-1.
- DeSalvo KB; Hyre AD; Ompad DC; Menke A; Tynes LL; Muntner P: Symptoms of posttraumatic stress disorder in a New Orleans workforce following Hurricane Katrina. *J Urban Health*. 2007;84(2):142-52.
- Carpenter CS: Workplace drug testing and worker drug use. *Health Serv Res*. 2007;42(2):795-810.
- Shumway ST; Kimball TG; Korinek AW; Arredondo R: A family systems-based model of organizational intervention. *J Marital Fam Ther*. 2007;33(2):134-48.
- Nakao M; Nishikitani M; Shima S; Yano E: A 2-year cohort study on the impact of an Employee Assistance Programme (EAP) on depression and suicidal thoughts in male Japanese workers. *Int Arch Occup Environ Health*. 2007;81(2):151-7.
- Merrick ES; Volpe-Vartanian J; Horgan CM; McCann B: Alcohol & drug abuse: Revisiting employee assistance programs and substance use problems in the workplace: key issues and a research agenda. *Psychiatr Serv*. 2007;58(10):1262-4.
- Masi DA: Reviewing EAPs' clinical outcomes. This rarely performed process can lead to better service delivery. *Behav Healthc*. 2007;27(10):35.
- Osilla KC; Zellmer SP; Larimer ME; Neighbors C; Marlatt GA: A brief intervention for at-risk drinking in an employee assistance program. *J Stud Alcohol Drugs*. 2008;69(1):14-20.
- Wilburn ST; Wilburn KT; Weaver DM; Bowles K: Pearls and pitfalls in evaluating a Student Assistance Program: a five-year case study. *J Drug Educ*. 2007;37(4):447-67.
- Burton WN; Conti DJ: Depression in the workplace: the role of the corporate medical director. *J Occup Environ Med*. 2008;50(4):476-81.

この中でEAPの早期介入、早期発見に関する文献は5編あった。

Bednarek & Featherston (1984) は、病院でのEAPを報告した。従業員の個人的問題への早期介入と治療の機会と漸進的懲戒

処分とを組み合わせた。EAPコーディネーターは治療のための適切な資源を紹介した。上司には従業員の問題を発見し、問題の診断よりも仕事のパフォーマンスに焦点を当てるように教育した。3年間の記録から、EAPに参加した92人中72人が問題を改善または解決した。離職率が36%から20%に減り、離職や配置転換の費用約40,800ドルが節約できた。

Flynn et al. (1993) は、航空会社のパイロットのアルコール依存症と治療の記録を後ろ向きに解析した。アルコール依存症の87%が薬物乱用治療の後にパイロットに復帰し、13%が再発した。パイロット、組合、経営、航空医、EAPプロフェッショナルとのチームワークを促進することで、薬物乱用パイロットの早期発見・治療が推進できる。

Kramer (1998) は、薬物乱用の発見と治療におけるEAPの役割を報告した。EAPは職場の薬物乱用のコストを抑える効果的対策である。EAPは予防、早期発見、紹介のための評価、アフターケアを提供し、薬物乱用の莫大なコストを抑制するのに役立つ。薬物検査とEAPサービスとを統合するのが最も効果的なプログラムであると指摘した。Becker et al. (2000) は、米国の運送会社の職業規範を変えて薬物乱用を減らすための職場の予防、早期介入プログラムを評価する進行中の方法を報告した。EAP、無作為薬物検査、行動保健管理、同僚主導介入プログラムといった4プログラムを用いた。アウトカム評価では、欠勤、離職、怪我、障害等の仕事のパフォーマンスへの影響を調べてコスト分析を行う。

Merrick et al. (2007) は、職場の飲酒問題で始まったEAPが現在は包括的資源へと発展し、研究課題として、早期発見のための経営相談を含む薬物使用問題への対応等

の研究課題を提唱した。

3) EAP等の外部相談機関

「メンタルヘルス対策における事業場外資源との連携の促進について（基安労発第0619001号、平成20年6月19日）」により「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」が平成20年度に独立行政法人労働者健康福祉機構に委託された。独立行政法人労働者健康福祉機構のホームページには相談促進事業の登録相談機関リストが掲載されている。

(http://www.rofuku.go.jp/sanpo/eap/list_1.html)

2009年2月10日までに登録された相談機関は、以下の7都府県の11機関であった。

【群馬県】

メンタルヘルスケアセンターぐんま（センター長 多菊 敏幸）

【千葉県】

有限会社 メディカルハート志津志津（しのぶ）

【東京都】

フォーサイト EAPセンター（代表取締役社長 奈良 元壽）

株式会社フィスメック 東京カウンセリンググループ（代表取締役 田中 茂雄）

株式会社コーリング カウンセリンググループ（代表取締役社長 土田 毅）

社団法人日本産業カウンセラー協会 東京支部（支部長 蓮井 敏隆）

代々木の森相談センター（代表取締役 三枝 節子）

【大阪府】

日本CHRコンサルティング株式会社（代表取締役社長 中西 史子）

【徳島県】

Mental Health & Human Support Wit

h You (With You代表 川上 晃代)

【鹿児島県】

カウンセリングルーム ユーカリ (有限会社
社こころのサポートセンターアミ 代表取締役
武井 美智子)

【沖縄県】

オフィスサーブ (代表 安高 真弓)

日本EAP協会は国際EAP協会 (EAPA) の
正式日本支部であり、賛助会員は以下の7
機関である。

<http://eapaj.umin.ac.jp/>

株式会社アトラクス ヒューマネージ

<http://www.humanage.co.jp/>

株式会社ヒューマニーズ

<http://www.humaneeds.co.jp/>

医療法人あけぼの会メンタルヘルスセン
ター

<http://www.akebonokai.or.jp/>

株式会社イーブ

<http://www.eapjapan.com/>

株式会社保健同人社

<http://www.hokendohjin.co.jp/>

株式会社ピースマインド

<http://www.kenko-program.com/mental/>

株式会社産業医大ソリューションズ

<http://www.uoeh-s.com/>

インターネットでその他のEAP等の相談機
関を検索すると以下の16機関があった。

KHCメンタルヘルス・プロフェッショナル
サポート (神田東クリニックEAPセン
ター)

<http://www.iomhj.com/index-mps.htm>

株式会社 ジャパンイーエーピーシステム

<http://www.jes.ne.jp/index.php>

株式会社フォーサイト

<http://www.foresight-eap.jp/site/index.htm>

アドバンテッジEAP

<http://www.a.eap-net.com/>

EAP総研株式会社

<http://www.eapjp.com/user/index.html>

キャリアマネジメントコンサルティング株
式会社

<http://www.cmck.co.jp/>

ヒューマン・フロンティア株式会社

<http://www.humanfrontier.co.jp/>

株式会社 労研

<http://www.rouken.net/index.php>

株式会社ライフバランスマネジメント

<http://www.lifebalance.co.jp/>

ティーベック株式会社

<http://www.t-pec.co.jp/t-pec/eap.html>

株式会社 リプレンスプラス

<http://mind-edit.com/index.html>

株式会社フォーカスマネジメント

<http://www.healthycompanynet.jp/index.html>

株式会社フジEAPセンター

<http://www.fujieap.com/>

ピープルスタッフ株式会社

http://www.peoplestaff.co.jp/s_others/eap.html

キャリアマネジメント コンサルティング
株式会社

<http://www.cmck.co.jp/>

株式会社アイエフエフ

<http://www.iff.co.jp/eap/>

D. 考察

本研究では、文献データベースでEAP
等の外部相談機関の文献検索を行い、医中
誌Webで81編、PubMedで153編の文献が
あった。英文では1978年から日本では199
2年からEAP等の報告が行われている。し

かし、その中で早期介入や早期発見の文献は少なかった。日本ではうつ病ケアでEAP等を活用して効果的な早期発見・早期治療に結びつけるためのシステムづくりの重要性が指摘されていた。海外では飲酒問題や薬物乱用等のEAPによる早期介入の有効性や経済的メリットの報告があった。EAPでは疾病よりもパフォーマンスの低下の焦点を当てて問題解決のための適切な専門家を紹介する。

「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」の登録相談機関は、7都府県の11機関であり、40道府県には登録相談機関が存在しない。相談機関の登録基準には精神科医の関与が含まれ、「面接によるメンタルヘルスに関する相談を希望するすべての労働者に対して、相談対応者による面接に先立ち面接を行い、その結果を相談機関に報告する」ことが基準となっている。精神科医の要件は精神科医の臨床5年以上、産業保健に関する研修受講で満たすことができる。日本EAP協会の賛助会員は7機関、その他のEAP等の相談機関は16機関見つかったが、これらは相談登録機関ではない。精神科医による事前全員面接が登録の障害となっている可能性が考えられる。

日本の外部相談機関ではどちらかというと医療が重視され疾病に焦点を当てられているが、海外のEAPのようにパフォーマンスに焦点を当てて、対策のコストを考慮して経済的で有効な支援を提供することが望まれる。

E. 結論

EAP等の外部相談機関の文献検索を行い、医中誌Webで81編、PubMedで153編の文献があった。その中で早期介入や早期発見の文献は少なかった。日本ではうつ病ケアでEAP等を活用して効果的な早期発見・早期治療に結びつけるためのシステムづくりの重要性が指摘されていた。海外ではアルコール依存症や薬物乱用等のEAPによる早期介入の有効性や経済的メリットの報告があった。

「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」の登録相談機関は、7都府県の11機関、日本EAP協会の賛助会員は7機関、その他のEAP等の相談機関は16機関あった。相談機関の登録基準に精神科医による事前全員面接があることが障害となっている可能性が考えられる。

日本の外部相談機関では医療が重視されているが、対策のコストを考慮して経済的で有効な支援を提供することが望まれる。

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

職域メンタルヘルス不調の予防と早期介入・支援のための
産業医向け教育プログラムの開発

分担研究者 堤 明純 産業医科大学産業医実務研修センター 教授

研究要旨

労働者のメンタルヘルス不調を予防し、かつ早期に支援・介入するにあたって、現時点における職域のメンタルヘルスクエアの弱点とグッドプラクティス事例を把握し、産業医による有効な予防・早期介入支援策を明らかにすること、及び、そのような支援策を具体化するために、産業医を対象とした職域メンタルヘルス不調の予防と早期介入・支援のための教育プログラムや教材を開発すること、を目的として、平成 20 年度は、1. とくに早期の支援・介入に関連する労働者のメンタルヘルス不調の予防に係る文献レビュー、2. 産業医を対象として、経験した事例を基に、早期に行われると好ましい支援と、それを可能にする事業場の体制や産業医のスキルについての聞き取り調査と関連する課題解決を探るグループワークを行った。文献レビューから、労働者・家族・管理監督者向けの教育のみならず、それを行う産業医を含めた産業保健スタッフの教育能力の向上や教育に活用できる教材の必要性が伺われた。ストレスチェックを含むスクリーニングの有効性の報告は多く、産業医におけるスクリーニングそのものと実務上の留意点に関する理解を進め、健診機会などを活用して適切な導入を進めることは有用と考えられた。教育やストレスチェックに限らず、情報の伝達を含めた事業場内の体制の整備について検討することも、産業医の重要な役割であると考えられた。産業医 15 名に聞き取り調査を行い、計 12 例の事例が収集された。事例から抽出された課題は、①メンタルヘルスに対する理解、早期からの適切な支援・治療を受けることが困難、②当事者や家族の治療への主体的関与が困難、③相談・治療へのアクセスの悪さ、④事業場外の資源との連携の困難、⑤初診時の治療者・治療環境の悪さ、⑥エビデンスに基づく最良の治療を受けることの困難、⑦生活全般の総合的支援サービスの乏しさ、⑧そのほか、事業場としての力の入れ方、受け入れ職場での復職前の調整の順であった。5人*3グループによるグループワークでは、事業場におけるメンタルヘルス一次もしくは（より早期の）二次予防の方策として、一次予防関連では、①職場におけるコミュニケーションの醸成、②本人及び周囲に対する教育、③快適職場づくり。二次予防関連でも、①従業員に対する教育、②相談しやすい雰囲気、③産業医や保健師によるインタビューの活用、④スクリーニングの活用の優先順位が高かった。また、そのような体制を事業場で構築していくためには、声かけ運動や相談の場の設定などが必要で、そういった方策を組織的に進めていくために安全衛生委員会やマネジメントシステムの活用が挙げられた。産業医として身につけたい能力としては、行動レベルでは、教育や交渉を含むコミュニケーション能力、知識・技量レベルでは、疾病の見立てや面接技法、課題分析や情報収集能力が挙げられた。

<研究協力者>

茅嶋 康太郎
産業医科大学産業医実務研修センター

梶木 繁之
産業医科大学産業医実務研修センター

門脇 康二
産業医科大学産業医実務研修センター

永田 智久
産業医科大学産業医実務研修センター

丸山 崇
産業医科大学産業医実務研修センター

伊東 大輔
産業医科大学産業医実務研修センター

大室 正志
産業医科大学産業医実務研修センター

近藤 祥
産業医科大学産業医実務研修センター

塩田 拓也
産業医科大学産業医実務研修センター

竹中 春美
産業医科大学産業医実務研修センター

田中 完
産業医科大学産業医実務研修センター

福田 佐紀
産業医科大学産業医実務研修センター

藤田 周弥
産業医科大学産業医実務研修センター

松井 亜樹
産業医科大学産業医実務研修センター

水町 祥子
産業医科大学産業医実務研修センター

A. 本研究の目的

平成 18 年 3 月に公示された「労働者の心の健康の保持増進のための指針」では、事業者が講ずるよう努めるべきメンタルヘルスクエアが包括的に示され、その取り組みが強化されることが期待されている。一方、臨床精神医学領域において、精神障害に対する早期支援・治療の重要性が強調されている。労働者のメンタルヘルス不調に対する早期の支援・介入は、事業場におけるメンタルヘルスクエアの重要な要素であり、かつ、体制の整備を含めて産業医の関与の余地が残っている部分である（堤，2009）。平成 20 年度は、3 年研究の 1 年目として産業医が関わる早期支援の方策をリストアップするための先行研究のレビューと、産業医を対象として、経験した事例を基に、早期に行われると好ましい支援、それを可能にする事業場の体制や産業医のスキルについての聞き取り調査とグループワークを行った。これにより、次年度以降の、産業医を対象とした全国的調査及び職域メンタルヘルス不調の予防と早期介入・支援のための教育プログラムや教材の基礎資料とする。

B. 方法

1. 文献レビュー

労働者のメンタルヘルス不調の予防に係る、とくに早期の支援・介入に係る文献レビューを行った。

産業保健システムの国際間の異同を考慮し、まずは、日本国内の文献に絞って職場におけるメンタルヘルスの早期発見に関する文献を抽出した。医学中央雑誌において、(精神保健/TH or メンタルヘルス/AL) and (早期診断/TH or 早期発見/AL)のキーワードで、2008 年 10 月までに掲載されている 36 の文献を抽出した。さらに、(精神保健/TH or メンタルヘルス/AL) and (早期/AL and 対応/AL)により 2 編の論文を抽出した。論文検討の過程で、各研究で引用され研究目的に適当と思われる文献は取り寄せてレビューの材料とした。

2. 産業医への聞き取り調査とグループワーク

産業医を対象として、経験した事例を基に、どのような支援が早期に行われるべきであったか、予防可能性とその内容についての聞き取り調査を行うとともに、事業場において必要な方策とその確立方法、及び産業医として身につけたいスキルについてのグループワークを行った。

平成 20 年 11 月に、インフォームドコンセントの下、1 週間前に事前送付した課題資料をもとに産業医 15 名に聞き取り調査を行った。聞き取り調査・グループワークの対象としたのは、産業医科大学産業医実務研修センターに所属する産業医経験 2 年以内の若手の産業医を中心に、経験年数 3～5 年の教育スタッフであった。

聞き取り調査の主要なポイントは以下の点において、経験したメンタルヘルス不調例について、

- 1) どのような支援が早期に行われるべきであったか
- 2) どのような、体制、情報、スキルがあれば、より効果的な対応ができたと考えられるか
- 3) 予防可能性とその内容
- 4) グッドプラクティスがあれば、どのような点が良かったか

さらに、産業医によるグループワーク (5 人 * 3 グループ) を行い、事業場におけるメンタルヘルス一次もしくは (より早期の) 二次予防の方策として、以下 3 点について具体的な提案を求めた。複数の方策・施策・スキルがある場合は

優先順位を付してまとめさせた。

- 1) もっとも重要と思われる方策はなにか？どのような状況が整備されるとよいか？
- 2) その方策を、事業場でどのように確立していけばよいか
- 3) 産業医として身につけたいスキルは何か

産業医に対する聞き取りについては、研究協力者を通じて多くの産業医の方に匿名でご意見をいただいた。

C. 結果

1. 文献的検討

抽出した文献をレビューし、研修・教育、ストレスチェック等を含むスクリーニング、システムの視点から整理を行った

(1) 研修・教育

管理監督者による早期受診につなげる対応の仕方の研修の必要性はよく指摘されている(北村 2001)。芦原ら(2003)は、上司らの勧めにより受診した症例のメンタルヘルス不調の平均罹病期間は他の受診経緯に比較してもっとも短く、臨床的見地からラインによる対応は有効であると報告している。内藤ら(2008)は、勤労者のうつ病の早期発見に当たってもっとも効果が期待されるのは、勤労者自身及びその家族と職場上司への心理教育や啓発活動であるとしている。

研修・教育の内容としては、管理監督者研修における、不調が心配される部下への声のかけ方や話の聴き方(傾聴)が優先順位の高い項目として挙げられている(内藤 2008; 廣 2004; 渡辺 2007)。先に紹介した内藤らは、労働者の心の健康の現況及び指針、業務上の精神障害の指針と自殺問題、精神障害の早期発見と職場復帰に関する留意点、話を聴く際の留意点といった、抑えておきたいメンタルヘルス概論とともに、うつ病の対応を熟知することを目的とした専門的な内容にまで踏み込んだ研修を実施している(内藤 2003)。

一方、専門医につなぐための産業医の役割の重要性についても言及されている(中村 2004)。また、産業保健スタッフには、事例の問題点的に評価するための知識・技術の修得と、日ごろからの職場のさまざまな情報の収集に努める態度が求められ、主な精神疾患に関する「見立て」や標準的な対応ができること、うつ病や

アルコール依存症といった代表的な精神疾患や自殺の兆候を見逃さない最小限の知識・面接技術が必要との意見がある(廣 2004)。

一般の産業医が使用できる標準的な心理教育ツールの作成とその使用法の教習の必要性も議論されている(内藤 2003)。研修・教育項目に関しては産業医自身が教育担当となるか否かの検討も必要になるかと思われるが、少なくとも事業場における研修・教育の企画の段階での項目リストの作成や、産業医に任せられる教育コンテンツの作成は考慮される。

(2) スクリーニング

大うつ病性障害の基本症状を質問すること(二項目質問法)による感度は良好であることが確認され、職域におけるうつ病の早期発見の有用性が示されている(鈴木 2003; 内藤 2003; 尾崎 2004)。尾崎らによると、外来のうつ病患者や勤労者を対象に、米国精神医学会の診断基準である DSM-IV の中のうつ病の診断基準に対応した簡易構造化面接(MINI)(Sheehan, Lecruiber 2000)をゴールドスタンダードとした検討では、二項目質問法で 2 点、BDI で 10 点は介入が望ましいとし、これを一次スクリーニングとし、その後 MINI を使用しながらの面接で診断を確定し、結果説明、必要があれば保健師からの介入を行った好事例を挙げている。二項目質問法に加えて、BDI を行うことで重症度の反転が行える有用性にも言及している。しかし、いずれも、早期発見・早期介入の実現には、職域のメンタルヘルス教育と体制の確立の重要性を指摘している(尾崎 2002)。

個人のストレスチェックとともに、短時間の面接を行ったり(豊増 2008)、職場のストレス要因についての認識を共有化し職場内で率直なコミュニケーションを図る職場ミーティングを開催するなどして、一次予防に役立てようとしている試みもある(田中 2006)。

スクリーニングに限らず、メンタルヘルスに関する活動は、健康診断の場や教育・研修などを有効に活用することが勧められている(廣 2004)。健診現場を利用したストレスチェックが、ストレス関連疾患の早期発見・早期治療につながる可能性が示唆される成果もある(前口, 2006)。健診時の問診票に、MINI のチェックリストの主要 2 項目を問診票に入れて、いずれかがチェックされていれば、他の 7 項目について